

<「自分の親は将来の自分」期：「親はウルサイけどアリガトウ」編－2>

対象（時間）：中学・高校生などの青少年（100分程度）

親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～

【ねらい】自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、A3用紙、フェルトペン（裏写りしない物）、アンケート用紙

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
：	○名札付け（来た順に）	○全員が名札をつける。（ニックネーム可）	※スケジュールを板書しておく。
（5分）	○ファシリテーター（学習支援者）自己紹介、主旨・ルールなどの説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は、予め了解を取る。（肖像権）	・机は講義形式
（10分）	アイスブレイク（雰囲気づくり） 「クワガタ、ガシゴシ！」 「クワガタ、ガシゴシ！クワガタ、ガシゴシ！私はクワガタ。アナタもクワガタ！」と言って指差し、前に引き出す。（全員が前に出るまで繰り返す） ①「クワガタ」両手を上に挙げクワガタの真似 ②「ガシゴシ」右に一歩踏み出しながら、「ガシ」で手を開き、「ゴシ」で閉じる。 ③「クワガタ、ガシゴシ」同様に左に一歩。 ④「私はクワガタ」指で自分を指す。 ⑤「アナタもクワガタ」指で誰かを指す。 ⑥指された人は即座に前へ出て、今度は二人で踊りながら、次の指名を行う。 ⑦数グループに分ける。	○初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 ○恥ずかしがらずに、笑顔で楽しく体を動かす。	・机を撤去
（5分）	○タイトル、ねらいを読む。 <エピソードを読みましよう> ○まず各自で黙読する。 ○次に配役を決めて音読する。	○三つの約束（発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守）、ただし、言いたくないこと話さなくてもよい。（パス有り） ○場の情景が思い浮かぶまで読みこむ。 ※時間があれば、動作を付けて、寸劇にしても良い。（アドリブも可）	・グループ数に応じて、机を配置
（30分）	<考えましよう、出し合いましよう> ○設問①から設問③まで記入し、グループで話し合う。 ○発表する。 ○設問④に記入し、話し合う。 ○発表する。	○テストではなく、ワークシートも回収しないので、時間をかけてゆっくり考えて、書いてもらう。 ※中高生は、設問を見ると、早く最後まで書き込もうとする傾向が強いいため。 ※話し合いのリーダーを決めておくと良い。	
（5分）	○親の役割とはどのようなことか、考える。	※「日頃感じていることや意見交換で話し合ったことなどを通して『親の役割』について考えましよう。」などの補足の説明をすると良い。	
（25分）	○グループで話し合い、全体で意見交換する。	○話し合ったことを、全体で発表する。 →A3用紙にどんな役割があるか書き出し、この用紙を見せながら発表する。 ※用紙に書くこと、全体で発表することを伝え、学習の見通しを持って話し合うと良い。	
（15分）	<学習を振り返りましよう> ○ワークシートに記入し、話し合う。 ○グループごとに発表 ○ファシリテーターの話	※時間があれば、県民の声も読む。（県民の声は必ずしも「模範解答」ではなく、色々な意見があるということを示すためのもの）	
（5分）	○終了・片付け ○アンケート記入	→参加者全員で行う。 →アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰

<メモ>